

# すいげん

みなみあその今と未来を発信

令和6年  
5月1日発行

Vol.65

## 3月定例会

- 2 「修正動議全会一致で可決」 第1回定例会
- 4 合同常任委員会
- 6 「ずばり村政を問う！」 一般質問
- 11 議会紀行
- 12 あなたのSDGsは？

南阿蘇村議会3月定例会  
一般質問の様子を動画でご覧いただけます。  
下記のQRコードでご覧ください。

※動画をご覧になる場合、通信料が発生する場合がありますのでWi-Fi環境での視聴を推奨します。



## ■ 一般会計予算 総額110億7730万円に

### 【令和6年 第1回定例会】

3月定例会は、3月7日から3月15日まで9日間の日程で開催され、令和6年度一般会計当初予算など30議案（予算13、条例14、人事1、その他2）と村議会基本条例の制定など議員発議4件を上程した。

主な事業は、阿蘇立野ダムの完成に合わせた多目的記念館や公園の整備に3億4260万円、令和5年7月の豪雨で被災した橋の架け替え工事などに2億7708万円、一般質問には5名が登壇した。

#### 主な予算

庁舎内警備業務委託	504万円
立野ダム仮設備ヤード公園整備実施設計委託事業	3500万円
立野ダム多目的記念館建設事業	3億760万円
温泉補助券交付事業	800万円
南阿蘇中学校制服補助事業	199万円
南阿蘇中学校第1体育館トイレ改修・LED取替事業	6726万円



温泉補助券



令和7年度からの新制服

### 令和5年度 一般会計補正予算

#### ● ワインプロジェクト委託（村） = 補正額359万円

令和5年度3月締結の農作業委託契約書において、令和5年産収穫量3365kg分年内精算のため。  
(農作業管理者との契約が令和6年3月末)

#### ● 経営開始支援事業（新規就農者確保緊急円滑化対策事業）（国） = 補正額300万円

経営の不安定な就農初期段階の対象者に対して資金を交付する。4経営体

#### ● 中学校体操服等購入費補助事業 = 80万円

# 修正動議全会一致で可決

## ワイン用ぶどうの管理委託料270万円を減額

「特産品として村のワインを作り出すのが目的」と平成31年に事業を開始し、村が借りた土地24aに苗木170本を栽培。受託者に年間36万円で管理を委託。ぶどうは酒造会社に1キロあたり1000円で販売し、販売益も委託料として受託者に支払う契約である。

令和4年度までの委託料は732万円。委託料を除く村の支出は土地代や資材費合計1286万円になり、ワインの販売益は所有権をもつ酒造会社にはいる。  
※4・9・11P参照

### 賛成討論 市原議員

村長が進めてきたワインプロジェクト、5カ年の事業経過にも拘らず、費用対効果の実証も出来ず、村民からの税金を多額に費やしており、令和6年度も種苗肥培管理費270万円を計上してあるが、村民からみても納得できるものではない。

ワインプロジェクトぶどう生産事業、委託料、種苗肥培管理費は現時点で計上すべきではないと判断し、修正すべきであり賛成討論とする。

## 南阿蘇村議会基本条例を制定

### 提案説明 丸野議会運営委員長

南阿蘇村議会基本条例は、より一層議会機能を充実強化していくために、議会は議事機関として公平かつ公正な議論を尽くし、議会のあるべき姿を議会の最高規範として、議会の基本理念、議員の活動原則等を定めた内容です。更に議会と村民及び村長等執行機関との関係を明らかにし、意思決定を行うことはもとより、政策立案能力や監視・評価能力の向上、住民に対し信頼される開かれた議会の目指すべき道を示すため、制定します。

### 教育委員の任命に同意



教育委員 笠野 美由紀  
(大字久石)

好きな言葉

「常に目標を持ち  
目の前の一戦を楽しめ」

## 令和6年 第1回議会臨時会1月30日（議案第1号～10号）

議案	主な審議内容	審査結果
議案第2号	村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について (令和6年2月1日～4月30日=30%の減給)	原案可決
議案第7号	財産の処分について（阿蘇白水温泉瑠璃） (処分金額7000万円…(株)ジャパックス・兵庫県神戸市)	原案可決
議案第8号	指定管理者の指定について（水加工場はくすい） (名水みなみあそ(株)…ハイコムウォーター(株)の子会社)	原案可決

## 課設置条例の一部を改正する意図は

### 〈河内委員〉

平成30年に当時の企画観光課を産業観光課と政策企画課に再編している。今回、これをまた一つにする条例改正であるが、二度再編する趣旨及び意図は。

### 〈村 長〉

平成30年の見直しは、熊本地震の後で南阿蘇鉄道の復旧工事や、観光関連の復旧事業等があり、業務が膨大になっていたため課を分けた。今回、熊本地震の復興事業が完了したこと、温泉施設の売却もある程度めどが立ったことで再度、課をまとめ一体的な事業展開が見込まれるので統合を提案した。

## 一般会計補正予算

### ワイン用ぶどう関連

### 〈後藤委員〉

令和6年1月24日の全員協議会后に、ぶどう生産者（以下「生産者という」）の方から連絡があった。村長から議長か副議長に協議内容を聞いてほしいとのことであったが、どういう意味で生産者に連絡したのか。

### 〈村 長〉

令和6年1月24日の全員協議会のときに、生産者と折り合いがつかないことは説明した。ぶどう栽培再契約の時期だったので、これまでどおりの契約は無理と再三生産者に話をしたが、これまでどおりと強い希望があり、議員に聞けばわかるとの意見もあった。全員協議会のときに生産者とは再度交渉すると説明したが、その旨を伝えなければならぬので話をしたが、「議員の考えはそうではない、議員は理解している」と言われたので、議長なり副議長に聞いてみてはと言ったということ。こちらから仕向けたわけではない。

### 〈後藤委員〉

今の話は、生産者がうそを言っているように聞こえるが、私には議長か副議長に連絡をとるよりの電話であった。本来、そこは執行部が出向いて丁寧に説明をするべきでは。また村長と生産者との意見が違うのは納得できない。

本来、村長が就任当時から肝煎で特産品をつくりたいとの熱意で了解をして進めてきた。しかし、全体像が全然つかめない中に、昨年度から詳細が分かってきた。結論は、全て税金で賄ったものの、売上まで生産者が持っていくことは議会としては許されない。今まで、議会にも相談があって契約書なるものが作成されていれば、このような事態は絶対起こっていない。全部お膳立てしたのを一人の特定の人が売上まで持って行くのは村民も理解できないと思うが、どうしてそのような契約になったのか。

### 〈村 長〉

生産者との契約は、ぶどうが取れ出したら1キロ当たり1000円の契約をした。当初は2トン程度と聞いていたので、200万円ぐらいとのことであるという契約にした。しかし、令和5年度は3トンで、それは予想外で300万円を生産者に払うという契約だったが想定外であり、そこを生産者と交渉をしていた。売上をそのまま生産者に支払うというふうなつもりで契約をしたわけではない。ある程度の定額、200万円定額での契約の仕方もあったと思うが、生産者に問い合わせしたところ、取れ高に対する委託料を配慮した設定にとも伺ったので最初は1キロ1000円で契約をした。生産者が有利になるように契約したわけではない。

### 〈後藤委員〉

説明も理解できない事はないが、今月いっぱい契約期間があるので契約変更、契約見直しはまだできる。せめて村に売上の半分は残すような交渉をすべきである。当初の見積が甘かったのは事実であり、果樹は収量が2年より3年増えていくのは当然であり予想できたと思う。村民の立ち位置で村長自ら交渉をすべきである。

もう一度言うが、どうして議会を無視するのか、相談しないのか、不思議でならない。堆肥センターの件、前副村長家賃の件、議会に提案して話をすれば全然問題にならないことが、単独行動によって村の恥になっている。是非そういう姿勢はやめて頂きたい。

### 〈村 長〉

私から連絡はする。ただ、これまで生産者とは

何度も交渉してきた。なかなか会って頂けないという状況もあるが、交渉に臨んでいく。

## 令和6年度一般会計予算

### 〈今村輝委員〉

令和6年2月27日、衆議院予算委員会分科会で国民民主党の長友議員より野焼きや保安林解除など質問がされている。その中で南阿蘇村長よりメッセージを預かっているとのことであったが、どういう意図で長友議員に言われたのか。

### 〈村長〉

半年ぐらい前に、挨拶程度で役場に来られたことがあり、その際に困ったことはないかとの事だったので、草原の維持で苦労していると伝えた。2月27日の10日ほど前にメールでやり取りをしており、阿蘇の草原のことで質問したいとのことだったので、資料と熊日新聞投稿文をメールで送った。私からのメッセージとして読まれたが、読んで下さいとの目的で送ったわけではないので私も困惑している。

### 〈丸野委員〉

南阿蘇中学校のトイレ及びLED改修、6500万円の工事内容は。

### 〈教育委員会事務局長〉

南阿蘇中学校第1体育館のトイレ洋式化と体育館のLED化の2種類の工事である。トイレが2900万円、LED化の伴う改修工事が3600万円で、合わせて6500万円。



### 〈河内委員〉

地域おこし協力隊の月額報酬は特別交付税で措置をされているが、なぜ16万円から18万円に増額されないのか。

### 〈定住促進課長〉

地域おこし協力隊の身分は、会計年度任用職員と同様の為、均等を図る必要もあるため現状の16

万円にしている。国の制度の改正等に合わせて見直しを行っていく。

### 〈橋本委員〉

台湾視察研修費177万円及び何を目的として交流をするのか説明を。

### 〈政策企画課長〉

令和4年度に台湾の東港鎮に行って覚書を締結している。今回は台湾より来村されるが、来年度の交流をするため執行部5名、議会5名の計10名分の旅費を計上している。観光交流、特産品の輸出入を広めるのが目的である。

### 〈後藤委員〉

台湾交流関連であるが、東港鎮とどのような方向に進むのか、議会は全然了解をしていない。177万円の予算で議員5名とのことだが、今14名いる。行くのであれば全員で行き現状を見て姉妹締結までするのか、まだその段階であると思うが。

### 〈村長〉

今後の交流は議会と、相談しながら進めていく。とりあえず、執行部5名、議会5名を予定しているが、協議の上変えていく考えはある。

## その他

### 〈辰巳委員〉

避難所の体制と、今後の避難所の在り方は。

### 〈村長〉

予防的避難所及び指定避難所として計15カ所、1500人を収容できると算定している。マットレス、毛布など常備しており、飲料水は3216ℓ、保存用ビスケットやアルファ米など約4500食を備蓄している。避難所の在り方は、安全な避難所生活を送るため、衛生管理・食事管理・健康管理の3つが重要である。今後も、安心、安全な避難所運営のため必要な備品を整備していく。

### 〈坂田委員〉

スーパー誘致の考えは。

### 〈村長〉

交通弱者や買物弱者のためにも、スーパー誘致に取り組んでいく。また企業誘致という形でできないか検討する。

# ずばり **村政を問う!**

一般質問は、会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で構成し、掲載しています。詳細は、会議録の閲覧ができます。

南阿蘇村議会3月定例会  
一般質問の様子を動画でご覧いただけます。  
下記のQRコードをご覧ください。

※動画をご覧になる場合、通信料が発生する場合がありますのでWi-Fi環境での視聴を推奨します。



## 一般質問 **坂田 正也**議員

ここが聞きたい ずばり村政を問う!

### 公共施設トイレの洋式化は

#### 坂田議員

村内の小中学校のトイレ、体育館を含めて和式か洋式の現状を尋ねる。中学校の体育館は、男子トイレで洋式1・和式3。女子トイレでは洋式1・和式7。現在の状況に違和感を感じた。学校教育の現場にしてこれは良くない。もっとトイレの洋式化が必要である。

さらに小中学校の体育館は、災害時に緊急避難場所として使用される。その際、高齢者や体の不自由な人には、和式トイレは非常に利用しづらい点がある。早急にトイレの洋式化が必要。全ての緊急避難場所の現状も尋ねる。



南阿蘇中学校第1体育館

式トイレへの改修、災害時には、高齢者や障害者の方には必要不可欠となっている。

小中学校の校舎は4校とも洋式トイレで整備済み。未整備である中学校の第1体育館のトイレ改修費と白水小学校体育館トイレの設計業務費用を令和6年度当初予算に要求している。また、学校施設以外で避難所指定の白水体育館及び、久木野体育館トイレの洋式化も大変重要な課題と認識している。老朽化している建物全体の改修も視野に入れながら今後、年次計画を立て検討していく。

#### 総務課長

現在、学校施設以外の避難所が7カ所、ペット用避難所として1カ所利用している。洋式トイレの設置はあるが、一部が和式トイレである。今後、和式トイレに関しては避難者の利便性を考え、計画的に洋式化に向けて設備の改善を進めていく。



避難所トイレの現状

### 年次計画を立て検討していく

#### 教育委員会事務局長

小中学校のトイレと避難所となる公共施設トイレの洋式化は近年、各家庭における生活スタイルの変化から、和式トイレになじみず衛生的にも洋

#### 坂田議員

今後、避難場所施設トイレを含めて小中学校体育館トイレ洋式化への改修を強く要望する。文科省の補助金等も活用し、早急な対応をお願いする。

## 河内 克也議員



### 加工施設整備と流通対策は

#### 河内議員

わが村は農業の村。所得向上、新規就農者を増やすことが至上命題。議会では農業振興のため、多くの先輩議員が質問、議論を重ねてきた。

6年前、先輩議員質問時、村長は、「加工施設が老朽化しているので、あそ望の郷一室を改修する整備計画を進める。各農産物の産地化と経営安定を図るため、地産地消と6次産業化に取り組む」と答えた。

①答弁から6年経過。村内農産物加工施設の状況と課題をどう認識し、6次産業化推進と村民の多くが利用できる施設となるための対策は。

②流通のステークホルダー<sup>\*</sup>が情報を相互に共有できていない。村の安全で美味しい農産物が欲している消費者に届かない課題有り。安定的食材供給地となるため現状と課題、具体的対策は。

### 民間業者に任せるのが現実的

#### 村 長

①現在、加工施設は、あそ望の郷内にみそ加工施設があり、使用料を払えば誰でも利用できる。ただし、販売を目的とした加工施設は保健所の許可が難しい状況で、この施設の利用者は自家用みその製造が主。他方、民間では加工施設を有する施設が多くある。品質・衛生管理を考慮すると、民間加工業者にお任せするのが現実的だと考えている。民間による開業相談の際は、国・県の補助金の誘導等、対応していく。ジビエ加工施設は、荒廃地対策でも有効だと考え情報収集に努めている。村として施設の方向性をできるだけ早くお示しできればと考える。

②販路拡大は、環境保全農業推進協と農業みらい公社が連携し、村内の施設で地元の農産物を使う、マッチングシステム試験導入等行っている。また、ホテルなどへ、農産物のPRを進めている。物流等も課題で、現在試行的取組を行っている。

#### 河内議員

6次産業化推進のため、村民が利用できる加工場は必要。流通面は変革の必要性も高く、新しい形の流通仕組み検討が必要。担当課を中心に加工施設プロジェクトチーム、流通専門チームを発足し、加工場の機能検討、技術指導、販売目標を定めるなど、行政が本腰を入れてほしい。

### 選挙公報、準備状況は？

#### 河内議員

3年前「村の選挙公報発行」の質問を行った。

- ・公報は村民へ平等に候補者状況を届ける有用手段

- ・村民から公報発行がないことに、何を基に比較判断、投票すればいいのかとの意見が多くあった

- ・日数等課題はあるが民主主義の入口、根幹の考えから公報発行は最も重要等……の質問内容。

選挙管理委員会からは、期間が短く、多くの課題をクリアしなければならないが、選挙期間中、公報発行の問い合わせが多かった。

「村民の発行要望に応じていく」という前向きな答弁であった。

任期満了で、来年2月に執行される村長選、村議選に向けて、選挙公報発行の準備状況は。



### 問題点を整理検討中

#### 選挙管理委員会書記長

質問を受け、条例制定の内容を選管で検討している。選挙運動期間が5日間と短く、公報は公選法の規定により投票日の2日前までに登録された全世帯へ配布する必要がある。

発行には原稿取りまとめ、掲載順決定、編集印刷、配達完了まで短期間で行う必要があり厳しいスケジュールとなる。実施できるか問題点を整理検討している。選管としては、有用な手段として公報が各家庭に届けられることが最善であると考えている。最終的には条例案などを議員に示し、来年の選挙時に実施するかどうか判断いただきながら、その結果を踏まえ条例制定の手続きを進めたいと考えている。

#### 河内議員

今回の質問まで発行準備対応がなされていなかったと感じる。民主主義の熟度を測るには、公平・公正な選挙、政治の説明責任、村民の政治参加等が指標となる。

当たり前に民主主義の村として胸を張れるよう、村民の代表として「公報は必要」と最後に再度申し上げる。

※ステークホルダー = あらゆる利害関係者



## 橋本 功議員

### 学校施設における避難所としての環境整備は

橋本議員

学校施設は、児童生徒の学習の場であるとともに、災害時は地域住民の応急避難所として役割を果たすことから安全性、防災機能の確保は重要である。

文科省は児童生徒の熱中症対策として空調設備（エアコン設置）を推進しているが、現状では整備されていない。体育館の空調設備、学校における熱中症対策や災害時の指定避難所として機能強化など、空調設備への必要性は。

### 空調設備の早期設置を目指す

教育長

熊本地震から8年が経とうとしているが、その後も空調施設は未整備のままに至っている。体育館へのエアコン設置は、熱中症対策としても重要な施策であり、災害発生時の防災機能強化は文科省において空調・冷房設備を進めるよう要請を受けている。

避難所の役割も担う体育館の空調設備は、国の補助率2分の1であるが、事業費、ランニングコスト等も検討し早期設置を目指していきたい。

村長

教育長の答弁どおり、教育環境、避難所の環境は改善していかなければならない。ある程度費用の負担は確保して整備していく。



熊本地震時の避難所の様子

### 南阿蘇村地域整備計画残事業は

橋本議員

昭和58年度に立野ダム建設事業着手から41年の長い年月を経て2月17日に完成式が行われた。ダムの名も立野ダムから阿蘇立野ダムに変更して阿蘇の知名度を生かすことができた。旧長陽村から継続している地域整備計画残事業は、多目的記念館、ダム駅、スポーツ広場、その他にも自然探索歩道、ダム周辺植樹、栃木地区公園整備は平成31年度から取り組まれている。村長は2020年度までに基本計画を策定し、整備計画を定めると述べているが、3つの残事業

- ①南阿蘇鉄道ダム駅の設置
- ②多目的記念館の設置
- ③スポーツ広場の整備 以上の計画は。

### 新駅設置は不透明

村長

3事業のなかで、多目的記念館建設の実施設計とスポーツ広場の基本設計を業者に委託している。令和7年度までには、拠点施設の横に遊具広場などを整備したいと考えている。

立野ダム駅は、高森町及び南阿蘇鉄道に対し、要望、協議を重ねてきたが、利用者動向等、運輸収入の見通しが必要で、新駅建設は不透明になっている。このため、新駅の設置には至っていないので、引き続き協議を行っていく。



阿蘇立野ダム仮設ヤードの整備イメージ

## 今村 竜喜議員



### プロジェクト事業の成果と今後の課題

今村議員

平成31年に苗の定植、ぶどう棚の設置、生産施設の補修を行いワイン用ぶどうの試験栽培がスタート、ふるさと納税の返礼品や村内で限定販売との事で6年目を迎える。事業は順調に推移し苗木は成木となり安定した収穫量が見込めるところまで来ている。

- ①長期にわたる栽培実証と村に対する費用対効果は。
- ②村としてワインを販売予定であったが、現にワイン用ぶどうの生産が主体となっており、生産物売払収入の同額が種苗・肥培管理費として支出されている。経済効果は発生せず、行政改革を進めている村にとっては事業の中止や見直しが検討されるべきではないか。
- ③締結している業務委託契約が期間満了を迎える。村長が示された民営化へ向け、どのような交渉をされ進められるのか。

### ワイン生産が続けられる体制を作る

村長

- ①これまで約2000万円を歳出、ぶどう販売収入733万円・ふるさと納税181万円で914万円の歳入合計がある。栽培実証期間として支出増となっているが、今後は減少する。ふるさと納税は増加すると見込まれるので費用対効果は年々高まっていくと考える。
- ②酒税法の関係で「南阿蘇」の地名をラベルに使えないことが判明し、検討した結果現在に至っている(問いに対する的確な回答は得られず)。
- ③西日本でハウス栽培において良質のぶどうを生産している、ワインも高い評価を受けている。  
令和6年度中に栽培管理者を行う生産者を公募し、赤ワイン生産が続けられる体制を作っていくたい。

### 販売状況と在庫管理は

今村議員

プロジェクトであるならば原料生産、加工及び製造、商品化をしたので販売状況まで追跡されていると思う。その状況と在庫状況について報告を。

### 販売は積極的に行う、調整中

農政課長

令和3年産1030本、令和4年産1460本、あそ望の郷が720本入荷され587本販売済、ふるさと納税では122本、課としても180本、ソラシドエア60本、それぞれ販売促進に協力。残数1496本が熊本ワイン(株)の保管在庫である。令和5年産は樽醸造中であり約2450本の製造が見込まれる。

村からはぶどうを出荷しているので、製品(商品)は熊本ワイン(株)の所有であることを申し添える。

### 事業は終結すべき、今後の計画は？

今村議員

この経費は全て村負担であり、村民の税金とその収益が使われている。まずは在庫の解消を図るべきではないか。ワインの生産体制は確立できたのでプロジェクト事業を終了し、次のステップへ進まなければならない。早く方針を決め決断していないため混乱を招いている。課題は残るが終結すべきである。今後、具体的な計画が決まっているのか。

### 早く方針を出し、村のために努力する

村長

プロジェクトが思うように進まなかったことは反省する。ワインは製造から3年しないと味が安定しないため、ふるさと納税で販売促進を図り、村のためになるよう努力したい。



## 笠野 真喜議員

### 義務教育における不登校生の対策は

小中学校の不登校生に対して現在行っている対策と今後どのように接していくのか。

全国で増えている不登校問題で、文科省もいろいろ対策をしているが、30万人の小・中学生の不登校がいる。熊本県では、小中学生が5353人、高校生が770人いる。前年に比べ、小中学校で1200人、高校で199人増えた。熊本県は、全国で4番目に不登校が多い。本村では、児童15人、生徒18人、計33人が長期欠席扱いとなっている。

不登校生の児童生徒が増えた要因は、学校に対する価値観の多様化やコロナ禍で、学校を休むことに対する抵抗感が小さくなったことが挙げられるのでは。学校における人間関係や遊び、非行はないが不安・無気力・その他がある。今回、不登校を減らすことを考えた。

### 学校以外での遊び方と進路

笠野議員

本村は、児童15人、生徒18人、計33人が長期欠席者扱いとなっている。学校以外での学び方は、教育支援センター「ふらここ」に現在12名が利用している。不登校生の状況を把握することは難しいが、根気よく支援されている。不登校生だった生徒も今は高校や専門学校のことを考えている。今後ともお願いしたい。

### 高校進学等も可能

教育長

教育センター「ふらここ」での学び、その他児童家庭支援センター「ふわり」、児童発達支援多機能型事業所「き・き」、相談支援センター「ケルン」などがある。中学生における進路は、不登校であっても高校へ行きたいと進学意思を示せる生徒に対しては、高校進学等も可能である。



教育センター「ふらここ」

### クラス担任が対応しているが専門の先生に任せては

笠野議員

毎朝不登校生の状況把握や指導を担当の先生が対応しており、相当な負担になっている。先生のことも考え不登校生対応の先生が必要では。

### 各学校で対応している

教育長

担任以外に養護教諭、管理職等で対応するスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等外部の関係機関にお願いするなど積極的な活用を図り、各学校で対応している。

### オンライン授業やホームスクールは

笠野議員

仮想空間で話したり、クラブ活動に参加したり、VR空間やメタバースなど、学び環境・学習スタイルを合わせれば不登校生という概念がなくなるのでは。ホームスクールは、家庭を拠点として教育してはどうか？

### オンライン授業は中学校で実施

教育長

オンライン授業は各小学校では行っていないが、中学校で実施している。しかし、パソコントラブルでうまくつながらなかったり、つながっても一方通行の授業になることが多く授業内容がわかりづらいことが懸念である。

### 塾や習い事の活用は

笠野議員

児童生徒が学校に行きたくないとき、習い事に行くなど気軽に選択できることで、学校が苦手な子どもも頑張るのでは。学校だけで学びを完結せず、いろいろな教育サービスを合わせ選べるスタイルにしては。

### 各学校取り組んでいない

教育長

塾や習い事は各学校取り組んでいない。

# 議会『村議会に』紀行『聞こう』

村民の皆さまからよく聞かれる疑問に答えてみました。

## 村議会 & 村会議員のしごと

- ① 議会改革と政治倫理の取り組みは？
- ② 予算減額修正とは？ ※2～3ページ関連

### ①ウラ金問題はいかな！ 村議会の考え、動きは？

国政の問題は遺憾に思います。村議会では3月議会で議会基本条例を制定、政治倫理条例等を改正し、議員の責務、政治倫理基準、請負契約に関する遵守事項等を強化、また新たに定め、村民の皆様自ら進んで高潔性を実施できるようにしました。

### ②予算の減額修正とは どやんこつな？

3月定例会でワイン用ぶどうの管理委託料を減額する修正案が提出され、全会一致で可決されました。予算の減額修正とは、予算の一部を削除または減額して議決することで、今回は村長が提案したワイン関連予算について、総務産業委員会で可決し、提出された修正案を議会が審議して議決したものです。



議員それぞれ、6年が経過するプロジェクトの事業効果等検証し、予算審議を通して議論し、村民の負担軽減に通ずる減額修正の判断をしました。

### ③議員報酬は？(再)

### ③議員は1カ月、いくら もらいよるとな？

議員1人、報酬月額23万3千円です。この基本額から各税が控除されます。3村合併後、改正（増額）はされていません。

# あなたのSDGsは？

vol.11

喜多区 大塚 清信



SDGs 未来都市  
南阿蘇村

国連が2030年までに世界の目標として掲げられた17のSDGs。その中でも私は、水、食、働きがい、まちづくり、貧困に取り組める事を意識しています。

家は代々農業を営んでいますが、私自身は設備科の学校を卒業し、ビルや病院などの大きな建物の中で水道配管・トイレ設備工事をする会社に就職し、水や食などの衛生面、安全面も学びました。今回、新阿蘇大橋展望所ヨ・ミュールの指定管理者をさせていただくことになり、熊本地震からの復興の1つのシンボルに関わり、今までの知識が活かせるのではないかと考えています。

20代で、南阿蘇村の認定農業後継者の登録をしたため、食にも意識を向け、地元南阿蘇村の食材を取り入れた事業をしたいと思い、住所の「喜多」から取った『合資会社 喜多食品』という名称で、開業もしました。阿蘇地域の牛乳を使い、自家栽培のブルーベリー等、地元の特産物をトッピングしたソフトクリーム、クレープを販売する「南阿蘇 自然派ソフト」や、地域の子どもたちに人気となったJR大津駅前のタピオカ店「カフェランド」を経営。どれもお客さまの方が、店の継続を応援してくださるので、震災後も地域に根付いた店づくり、そして従業員が働きやすい環境や給与を話し合い、希望に沿った結果を出していく取り組みを進めています。また、お客さまの意見も取り入れてお互いが生活しやすいように考えています。



妻が始めたキッチンカーは、この春で23年目になりました。オープン当初から来てくれる子どもたちがもう大人になり、今はその子どもと来てくれます。妻が主催しているキッチンカーのイベント「南阿蘇の青空レストラン」でも食の勉強、経済の発展、人と人との交流を目指した動きをしており、南阿蘇村のまちづくり、子どもとの交流、販売商品の値上げをしない企業努力、家計や経済の発展に少しでも力になればと思い、日々取り組んでいます。

## 【最後に一言】

今年ソフトクリーム店の駐車場を広くし、より多くのお客さまをお迎えできるように準備しています。アイスクリーム製造所を造りましたので、南阿蘇村の農産物をアイスクリームに変身させたいと思っています。



## 編集後記

次の選挙まであと1年を切りました。皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

私は議員として、「多様性」を大切にしてきました。これまでの経験を活かしつつ、常に広い視野で考えることを心がけてきました。この村には、さまざまな可能性が広がっています。これからも、多様性を受け入れる生き方を大切にしていきたいと思えます。

最後に、長年にわたり県政をまとめてこられた蒲島知事に感謝申し上げます。同世代の木村知事には、熊本の更なる発展を期待し、新たな風が南阿蘇村にも吹き込むことを願いつつ、私も精進してまいります。

辰巳 和美

## 議会広報特別委員会

委員長 今村 輝宏  
副委員長 市原 恵一  
委員 河内 克也  
// 坂田 正也  
// 岡 智則  
// 辰巳 和美

## 発行責任者

議長 山室 昭憲

表紙の写真について

あさひ

朝陽の中の1番バス 朝の来ない夜はない。一刻も早い戦争の終わりを願いながら撮影しました。